

この15年、虐待やDVなど家族の問題がクローズアップされ、それが暴力であり人権侵害であると認めることで、人々の意識は変わり、さまざまな対策も取られるようになってきました。家族の中で個人の尊厳が守られることや非暴力による生き方が問われる今、家族の在り方や家族をとりまく状況は変わったのか、これから変わっていくのか、家族にかかわる支援者とともに考えます。

家族をとりまく状況は 変わったか？

～15年をふりかえって

7.9 2017 14:00～18:00 開場13:30
(日)

参加費 会員当日1000円(予約800円)
非会員当日1200円(予約1000円) ※学生は半額
小学生以下無料

会場 クレオ大阪中央館 4階 セミナーホール
〒543-0002 大阪市天王寺区上汐5-6-25



四天王寺前夕陽ヶ丘駅（地下鉄谷町線）
1・2番出口から北東へ徒歩約3分

<第1部> 14:00～
団士郎トークライフ(当NPO理事、立命館大学教授)
パールノート♪演奏



<第2部> 15:30～
シンポジウム
司会：村本邦子(当NPO理事長、立命館大学教授)

シンポジスト
石田文三(当NPO監事、春陽法律事務所・弁護士)
「親子とは何か－育てない親は、吹かない風、流れない川と同じか－」

羽下大信(当NPO理事、住吉心理オフィス主宰・臨床心理士)
「暴力という謎－男性の非暴力グループワークから見えるもの－」

宮地光子(当NPO理事、女性共同法律事務所・弁護士)
「家族の中の個人の尊厳に司法はどう関わってきたか」

◆DV子どもプロジェクト 福田央子(活動会員)、鳥元千栄(活動会員)

◆Vi-Project 桑田道子(当NPO副理事長)

ディスカッション
パールノート♪演奏+みんなで歌おう

お申込み・お問合せは下記まで、メールまたは郵便にて、ご連絡ください。

〒530-0035 大阪市北区同心2-11-1ハイネス同心202

女性ライフサイクル研究所フェリアン気付

NPO法人FLC安心とつながりのコミュニティづくりネットワーク

E-Mail info@npoflc.net



15周年記念イベント

家族をとりまく状況は変わったか～ ～15年をふりかえって

主催:NPO法人FLC安心とつながりのコミュニティづくりネットワーク

暴力や虐待に苦しむ人々を支援し、誰もが安心して暮らせるコミュニティをつくるために様々な活動を行うことを目的としています。

登壇者およびプロジェクトプロフィール

団士郎

公立児童相談機関の心理職25年を経て、1998年に独立。「仕事場D・A・N」を主宰。現在、立命館大学大学院教授を務めるほか、マンガ家、コラムニストとしても活躍し多数作品を発表。全国で家族療法のワークショップや講演会を実施している。

石田文三

1990年春陽法律事務所設立。子どもの生きる環境による不均衡の是正に取り組み、大阪市こども相談センター審査部会委員(2012年～)、大阪弁護士会子どもの権利委員会委員長(2001年度)、日本子どもの虐待防止学会執行理事等を兼任。

羽下大信

個人的心理臨床を続けながら、人間の持つ「暴力性」というテーマをめぐって、DV加害男性のためのワーク、養護施設の入所男子間の性暴力や学校でのいじめなどへの調整的介入など、コミュニティ・サポートにも力を入れている。住吉心理オフィス主宰。兵庫県臨床心理士会会長、大津の子どもをいじめから守る委員会委員長。

宮地光子

2002年女性共同法律事務所開設。女性が社会におかれられた困難な状況が反映している事件(離婚・DV、性暴力被害、モラル・ハラスメント、セクシャル・ハラスメント等)の解決に数多く従事、働く女性たちのネットワーク組織「ワーキング・ウィメンズ・ネットワーク(WWN)」世話人・住友メーカー三社男女賃金差別事件などの男女賃金差別事件を担当。

DV子どもプロジェクト

暴力のある家庭に育った子どもとその母親への支援を目的として、2002年12月に設立。2003年に「子どもとお母さんのための安心とつながりを育むプログラムを実施し、2005年からはDVシェルター(一時保護施設)に出向いて子どもと母親への派遣プログラムを実施している。

Vi-Project(ビーフロジェクト)

子連れ離婚家族への支援を目的として、2004年5月に設立。子どもが双方の親と良好な関係を築き、維持していくために、子どもの気持ち、福祉を最優先とした面会・交流をサポートする活動を展開している。年間のべ約150件のサポートを実施。

パールノート♪

音楽を通じて安心とつながりのコミュニティを拓げていけたらという願いのもとに2007年に結成された、長川歩美(当NPO正会員)&村本邦子(当NPO理事長)によるピアノユニット。